

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.2	会 場	栃木県体育館		取 手 第 二	20	15	27	19		81
審 判	(主) 三好 啓太	(副) 望月 直幸;新井 文明	C 3		アレセイア	11	16	16	16		59

茨城県立取手第二高等学校(茨城)

コーチ 佐藤 豊文 A・コーチ 山口 淳一 マネジャー

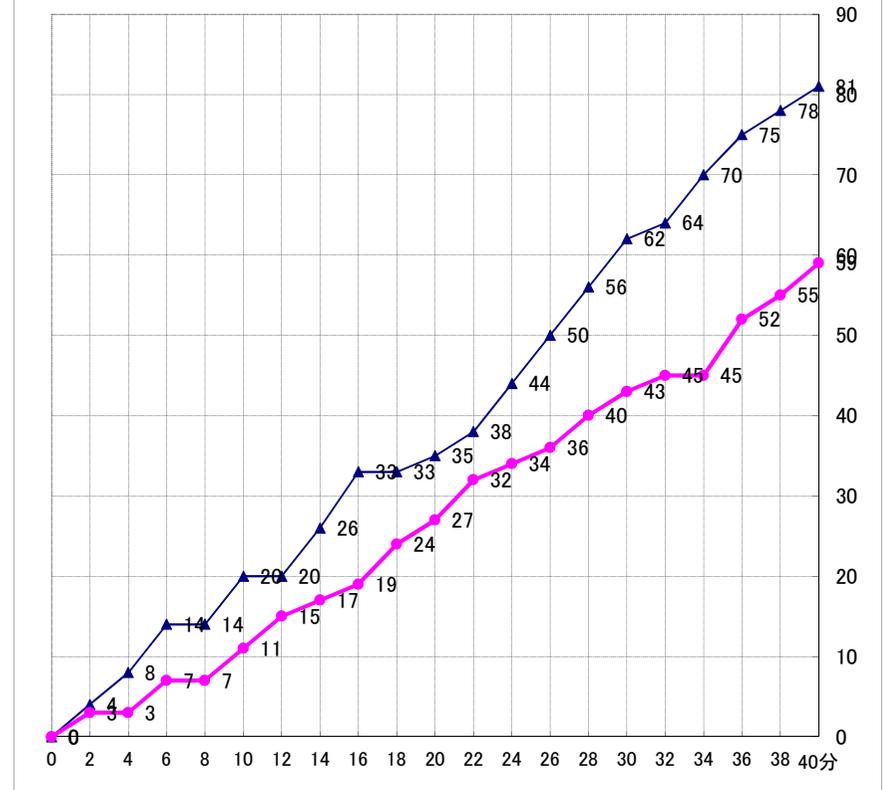
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
田中 辰弥	4	6	2	5	0	2	0	0	1	0	1	1
山田 康祐	5	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1
中川 祥一郎	6	17	3	14	2	4	4	8	4	0	13	13
宇留嶋 晴哉	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
坪田 麗	8	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
古沢 斗真	9	4	0	0	2	5	0	0	4	3	6	9
宮内 郁人	10	34	3	6	9	18	7	8	0	0	3	3
佐野 豊	11	7	0	7	2	7	3	4	3	0	5	5
小林 遼	12	4	0	1	1	2	2	3	1	0	1	1
鈴木 勇衣	13	2	0	0	1	2	0	0	2	2	4	6
瀧野 敦	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
田村 佑人	15	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
野島 海	16	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1
石黒 亮平	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
齊藤 巳由宇	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
チーム合計		81	9	35	19	42	16	23	20	10	36	46
成功率			25.7%		45.2%		69.6%					

アレセイア湘南高等学校(神奈川)

コーチ 堀 英樹 A・コーチ 福地 慎司 マネジャー 樋渡 新一郎

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
望月 瑠星	4	9	1	6	2	7	2	2	3	2	2	4
豊田 智己	5	23	3	13	7	11	0	0	4	1	2	3
井関 葵	6	0	0	2	0	6	0	0	5	2	6	8
山口 大樹ロイ	7	16	0	0	7	18	2	5	0	11	8	19
西森 鵬栄	8	0	0	9	0	0	0	0	0	0	5	5
小林 寛大	9	0	0	0	0	7	0	2	1	4	3	7
村田 和基	10	1	0	1	0	2	1	2	0	1	0	1
山本 航己	11	2	0	3	1	3	0	0	5	0	2	2
吉田 佳希	12	5	0	1	2	6	1	2	3	4	3	7
石田 主海都	13											
堀 真之介	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本多 海晴	15	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
門馬 昇汰	16	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
篠木 爽	17	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
ペーヅリアン尚智	18	1	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1
チーム合計		59	4	35	19	63	9	17	21	28	33	61
成功率			11.4%		30.2%		52.9%					

得点経過



戦評

接戦の第2試合の余韻が残る中、定刻より20分遅れての試合開始。先制はアレセイア#5豊田の3P。幸先のいいスタートとなる。一方、取手第二も高い位置からディフェンスを仕掛けるなど、固い守りから#13鈴木ドライブなどで得点を重ねる。アレセイアは#7山口にボールを集めたいが、取手第二のチームディフェンスを崩すことができず、逆にターンオーバーからのファーストブレイクやファールからフリースローを与え1Q20対11と取手第二のリードとなる。2Q両チームともディフェンスの当たりが厳しくなってきた。アレセイアはフリースローのチャンスを確実に決め徐々に点差を詰めていく。しかし、取手第二も#10宮内の3Pなどで応戦。突き放しに掛かりたい取手第二に対して、必死に食らい付くアレセイアという、どちらも一歩も引かない展開。残り時間1分7秒、アレセイア#5豊田の連続得点で再び点差を一桁に戻し、前半は35対27で終了した。3Qアレセイアは#7山口にボールが入るようになり、バスケットカウントを奪い点差を5点差まで詰める。しかし#6井関が今日4つめとなる痛恨のファール。ベンチに下がることになってしまう。波に乗りきれないアレセイア。一方の取手第二は#10宮内のファーストブレイクや#4田中の連続3Pやで突き放しにかけ62対43と、この試合最大の19点差までリードを広げる。4Q疲れが見え始めた両チーム。そんな中、アレセイアの足がやや止まってきた。ディフェンスの戻りも遅れ、立ち上がり3分で8点を与えてしまう。取手第二は、このチャンスを逃すことなく#4田中、#6中川などが着実に点を重ね、最終的に81対59で取手第二が勝利し2回戦に進出した。

記入者 草地由紀也